

# 全 員 協 議 会 記 録

令和3年4月27日(火)  
17時07分～17時52分  
全員協議会室

〔出席議員〕

川神議長、佐々木副議長

三浦議員、沖田議員、西川議員、村武議員、川上議員、柳楽議員、串崎議員、  
小川議員、野藤議員、上野議員、飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員、  
芦谷議員、永見議員、道下議員、田畑議員、西田議員、澁谷議員、西村議員、  
牛尾議員

〔執行部〕

副市長、総務部長、健康福祉部参事

〔事務局〕 局長、次長、浜野書記

---

## 議 題

1 浜田市における新型コロナウイルスワクチン接種計画について

2 その他

【詳細は会議録のとおり】

## 【会議録】

〔 17時 07分 開議 〕

川神議長 　ただいまから令和3年4月27日の全員協議会を始めたい。本日は田畑議員から欠席の連絡を受けている。  
では議題に入る。議員から現状確認をしたいとの要望を受け、急遽全員協議会を開催することとした。よろしく願います。

**1 浜田市における新型コロナウイルスワクチン接種計画について**

川神議長 健康福祉部参事。  
健康福祉部参事 (以下、資料をもとに説明)  
川神議長 報告内容を含め、確認しておきたいことがあるか。  
川上議員 かかりつけ医は通院を可としている。とはいえ通院しているところは長期入院でないとしないとする。その場合はどうすればよいか。  
健康福祉部参事 ご指摘の点は非常に難しいところである。このたび36の医療機関が接種を担っていただけることになったが、中にはどうしても通院されている方あるいは入院患者のみという形で、どなたでも受け入れる形になっていない場合もある。  
今指摘されたケースも実際にある。全医療機関の中には誰でも接種対応するところもあるので、そういった相談もいただきたい。  
また、7月をめどにしているが別途会場も設ける用意を進めようとしているところである。  
川上議員 その場合、コールセンターが案内してくれるということはないのか。  
健康福祉部参事 ご連絡いただいた際、コールセンターでお話をいただければ、例えば住所などを伺ってご案内などの説明をする。  
川上議員 私もコールセンターに電話したのだが、自分で探せと言われた。  
健康福祉部参事 対応がよくなかったと思う。近くにこういうところがあると説明し、その中で自分がどこがよいかということ相談いただければという趣旨で話したものと思う。乱暴に「自分で探せ」という意味ではないと思う。その旨をご了解いただきたい。  
布施議員 地区によっては江津と隣接している。下有福など。そのあたりを何件か回ると、かかりつけ医は江津の医療機関だと言われる。特に江津と隣接している町内については、かかりつけ医は江津でも接種券は浜田市から送るので、浜田の医療機関で受けることが原則だということを、高齢者は理解されていない。だから江津でも打てるのかと何件も聞いた。混雑を心配する高齢者もおられた。それについて対応は考えているか。  
健康福祉部参事 今回のワクチン接種は基本的には住民票のあるところでの接種が原則である。ただ、浜田市と江津市、接種方法が個別の医

療機関でとなっており、実際疾患などで市外の医療機関にかかっておられる方は市外医療機関を使うことを妨げるものではない。江津の医療機関が個別接種を受け入れているなら、そちらにご相談の上で接種もできなくはない。江津も浜田も同じような対応なので、そういう対応は流動的に可能と考える。

布施議員

ただ、接種方法が違うため、隣接地で接種が難しい地域が一部ある。旭の市木あたりでは生活圏が隣の自治体ということで、かかりつけ医がそちらの先生である。そこでは個別接種を行っていない。まとまった数の方があるので、対応方法を相談した結果、旭の一部地域では別途会場を設けて、そちらでかかりつけ医も浜田の医師も含めて別途対応するような工夫もしている。よくわかった。

健康福祉部参事

もう1件、在宅介護などで動けず受けられないケースがある。時期は別として一定期間を置いて、65歳以上の接種が7、8割程度終わった時点で、訪問して個別接種するような考えはどうか。

布施議員

今回のワクチン接種とは別に、往診しているケースがある。そういう方々は先生と相談して、往診中のワクチン接種を行うケースもある。しかしカバーしきれない部分が幾つかあるだろうというご指摘だと思う。今の段階で規模が捕捉できないが、ご指摘の点は考えていかないといけない。

澁谷議員

事例は違うが国政や市議会議員選挙も投票所が遠くなったときに、出張投票所を出すなどの配慮を浜田市はしている。ワクチンにおいてもそこまで考えていただきたい。

健康福祉部参事

5月17日からの一般接種に向けて浜田市は1万人分のワクチンを手配しているとのことだが、それはどこのメーカーのワクチンか。

2点目、浜田市は個別接種であることが大きな特徴である。36の医療機関で行うとの説明だったが、36の医療機関が5人を予定していたが、一人来られずその分を廃棄せざるを得なくなった、そういう事例が全施設で発生すれば、極端にいうと36人分が1日でロスする危険性をはらんでいる。先日も、2、3人分のワクチンが無駄になったことが大きく報じられるほどワクチンの量が少ないという全国的な状況を考えると、そういう危険もなくはない。起こり得ることを予想して万全の準備をしていると思うが、融通のし合いなど、どのように対応しようと考えているか。

ワクチンについては高齢者分は現在承認されているファイザーである。恐らく高齢者接種を行っている間、我々にはファイザー分が届けられるものと思う。

個別接種によるロス対策については、今は高齢者施設を先行して接種しているが、施設のほうでは必要数で端数が出る場合は施設職員を接種対象とするとのことで、この部分はロスがないように対応している。

問題は個々の医療機関において管理が難しい部分もある。抜

- 本的な仕組みは難しいのだが、各医療機関で予約リストを確保していただきながら、当日の対応が難しい部分を早い段階で次のリストの方に当たっていただくなど、シンプルな対応ではあるがそういう工夫をしてもらっている。
- 澁谷議員 先生方が判断しやすいように、行政も方針を打ち出したほうがよい。一人分欠席されたら院長先生の判断によって未接種の方で希望があればその場にいる受診者に声をかけても構わないなど、指針がないと勝手にしてもよいものか。また批判が起こり判断に困る状況も想像する。対応の指針については浜田市が責任を取りつつ、ロスのない形の接種に向けて協力いただくほうがよいと思うのだが。
- 健康福祉部参事 ロス対策は極めて柔軟な形で対応すればよいという報道もされている。現場的にそういったことも難しいこともあるが、そうは言いながら優先事項としてはできるだけロスがないことが大事な部分なので、柔軟な部分は容認していきたい。考え方を整理したい。
- 西川議員 ワクチン納入について不透明な面があるので、かなり混乱するのではと心配している。先ほど65歳以上2万202件発送されたと言われたが、それ以外の数字について確認したい。
- 健康福祉部参事 接種順位の医療従事者、65歳以上高齢者、3番と4番はそれぞれ何人ずついるのか。
- 健康福祉部参事 市民全体は52,600と押さえている。医療従事者は約1,800名である。その1,800名を包含したところではあるが、高齢者分を除いたところが32,400である。その中に16歳未満が6,400含まれている。16歳未満は今の時点では接種対象になっていない。それを差し引くと46,200人が全体の対象者になるかと思う。
- 西川議員 1番は1,800、2番が20,202、4番が32,400。そのうち6,400が16歳未満。
- 健康福祉部参事 その中には一応計算上、医療従事者1,800も含んでいる。
- 西川委員 合計52,600にするには3番は何人をカウントしているか。
- 健康福祉部参事 3番については具体的な数字は入っていない。
- 西川委員 32,400の中に入っているということか。理解した。
- 健康福祉部参事 では続けて、ワクチンが4月25日、26日に975人分が2回来る。そこまでしかわかってないのだろうが、65歳以上の接種が始まるのが5月。今は各地域協議会で市長がこの説明を直々にされているが、接種券が届いても5月10日までは電話をかけないように、早い者勝ちではないと言われているが、早い者勝ちではないのか。
- 健康福祉部参事 ワクチン供給の流れだが、我々が国に対して「これだけ必要だ」と投げかけ、県を通じて必要量が精査され、確定値として

入っている。それが2週間ごとに投げて、1か月後の納入量を確定できない。5月10日、17日の週の2週間分に対してのワクチン供給オーダーをかけているが、どうも希望より少ない量しか来ない見通しのようである。先々のワクチン供給量が見通せないのは我々も非常に辛いし、医師もどのくらい予約を取ればいいのか難しい。その中で確保ができていない内容をもとにして、医療機関ごとにこの程度までにしてほしいという形の投げかけをしている。

現時点では限られたワクチン量しかないのですが、その部分で急いでとなると皆にとはならないが、追って必ずたくさん来る。一定時間内で皆に対応できるようになる。国からは5月中旬以降に潤沢にワクチン供給できると言われているが、実際に国が用意した数と、我々のところに届く数が必ずしもイコールでないのが難しいところである。

西川議員

持っている情報が不確かなので仕方がないが、市民の不安を不要にあおるわけではないが、正確な情報を伝えておかないと。5月10日時点から受け付けが始まるが、数が限られるなら早い者勝ちになるのでは。

健康福祉部参事

当初は限られた量しかないため、その量でしか対応できないのは事実である。ただ、一定期間で必ず供給できる。すぐにはならないかもしれないが。

西川委員

ぎりぎりになって情報を出すと混乱すると思うので、わかっている情報はあらかじめ正確にお伝えいただくほうがよい。

それと先ほど澁谷議員も言われたが、36の民間医療機関で打つ、しかも普通の診療をしながら打たれるのだから、管理をきちんとしておかないとロスが出る。多分全国的な問題になると思うので、集団接種なら最小限に抑えられるが個別接種の方法を選んだのだからそこはしっかりしないと、本当に大きな問題になる。対策をしっかりされたい。

三浦議員

5が6になるときも情報をあらかじめ伝えるようお願いする。仮に予約キャンセルとなったなら残りの一人を探す努力を各医院がされるのだろうが、探し続けるのは通常業務に支障をきたすと思うので、どこまで探すのか。ロスを減らすということなら、4人はその日受けないなどもあり得る。そういったルールが曖昧だと各医院に委ねるとなると、20代が接種するケースもあり得ると理解するのだが。そのあたりはつくっておく必要があるのでは。

健康福祉部参事

皆が心配される場所だと承知している。接種の流れとしては接種券を持っていないとできないという原則的ルールがある中で、どういう形で柔軟に対応できるかはすごく難しい。しかしそこを医療機関の努力だけということにはならないと承知している。どれだけそういうことを容認できるのか、後追いででも接種できる、手続き的に対応が追えるかも含めて精査してい

- 三浦議員  
健康福祉部参事  
三浦議員  
健康福祉部参事  
三浦議員  
村武議員  
健康福祉部参事  
村武議員  
健康福祉部参事  
村武議員  
健康福祉部参事  
村武議員  
永見議員
- きたい。
- それは接種が始まるまでにまとめられるか。  
できるだけ早い段階で発信できればと思う。
- 接種が始まるまでに各医療機関に通達が行くように準備されるのか、それとも場合によっては接種が始まって以降に通達が行くのか。大きな差があると思うがどのように進めるか。
- かねがね課題になっているが、現時点で、柔軟な対応も先週来出てきた部分でここまで踏み込むのかというのがあった。抜本的なものがないので、この日までに間に合うかは今は言いがたいが、できるだけ間に合わせたい。
- 医療機関にも協力いただく形で接種をしていく手法を浜田市は取った。その中でロスの問題などで医療機関に非難の矛先が向いてしまわないように、事前にルールや基準は提示しておくべきである。判断が難しいだろうが、基準を通達できるよう努力していただきたい。
- 5月10日から医療機関での予約受け付けが始まるが、65歳以上の高齢者から当日は朝一で電話するとよく聞く。そうすると医療機関の電話対応などがかなり大変なのでは。対応は考えておられるか。
- 問い合わせの殺到はどうしても心配する。このあたり、我々でコントロールできないが予約の受け付けを含め医療機関には大変負担をおかけする。抜本的な対応策が難しいが、医療機関内で工夫をいただきたい。今、医療機関からご連絡いただいている中で、予約時間を設定していただき、いつからいつまでの間なら受け付けるなどを確認される医療機関もあり、私どもにもそれを知らせてくれている。我々がコールセンターで医療機関の照会をいただいた際は、ご案内する。
- 医療機関によって予約時間が決まっているところは、ホームページでお知らせするなどの考えはないか。
- 発信できる部分は埋めていきたい。
- 浜田市ホームページのトップに「新型コロナウイルス感染症について」というバナーがあるが、松江市や出雲市を見るとコロナ感染症についてというよりも、ワクチン接種についてというのが最近は出ている。多くの市民はワクチン接種の関心が今は強いので、そういうバナーも必要では。
- ご指摘のとおりである。ワクチン接種のページまでなかなかたどりにくい。もっとわかりやすいところに持っていく。
- ホームページの「新型コロナウイルス感染症について」を開くと日づけが載っているが、もう1年以上たつので2月、3月とあってもそれが令和2年なのか令和3年なのかわからない。ぜひ表記をお願いする。
- 2回目の接種は1回目から約3週間後と書いてあるが、ワクチン納入が限られている中、2回目の接種の見通しについて聞きたい。

- 健康福祉部参事 2回目は原則3週間であり、早目にということになっている。基本的にワクチン納入を受けて医療機関に提供する際には、2回目を想定して提供量は意識する。医療機関でも、初めての方と2回目の方が混在して対応量が増えてくる。我々は数量の見立てを見ながらご案内したい。
- 岡本議員 接種済みの方への証明書は発行するのか。いろいろな協議や会合の際に検温して問診票を書いてもらうのだが、そこに予防接種を受けたかどうかの情報があれば判断材料になるのだが。
- 健康福祉部参事 このたびは接種券をお送りしている。この接種券が接種を受けた際の確認シールになっているのだが、併せて接種済みと確認できるものを兼ねている。したがってお送りしている接種券がそのまま証明になるとご理解いただきたい。
- 岡本議員 予防接種を受けた人は、かからないかもしれないがうつす可能性はあるのか。
- 健康福祉部参事 予防接種を受けたけれども再度感染の。
- 岡本議員 その人は予防接種を受けたから大丈夫だが、何らかの形で保菌しており、それを人にうつす可能性があるのか。
- 健康福祉部参事 医学的な部分はお答えしにくいですが、ワクチンの一番大きな効用は発症予防効果である。ご承知のようにコロナウイルスは感染していても発症しないまま過ぎることもある。インフルエンザのように必ず熱が出ればうつったことがわかるが、コロナウイルスは必ずしも発症しないことがある。よって潜在的にどうなのかは我々も答えにくいですが、感染そのものをどうなのかはお答えを控えたい。
- 牛尾議員 医療関係者から伺った話だが、20,200人、36の医療機関で割ると550人くらい。1日何人打つかだが1か月はかかる。そうなるのとどこかで集団接種場所をつくってもらわないと医者も大変ではないかと。
- もう一つ、5人打つ予定が一人減った場合はどうするのかについて、柔軟な対応をと言われたが、あるドクターに言わせると、ドクターは職人だから柔軟な対応は難しい。もしそうなったときはどうするか、詳細なマニュアルをあらかじめつくっておかないと、柔軟に対応してうまくいけばよいが、勝手にこんなことをやったという話になりかねず、ためらいが出るのではと。
- それを聞いて、全くおっしゃるとおりだと思った。柔軟な対応というのはワクチン接種においてなかなか通用しない。今後の対応としてももう少し違う視点を持っていただきたいのだが。
- 健康福祉部参事 今回のワクチン接種、初めてのことであるし管理上デリケートなところもある。医療機関には大変負担の大きいことかと思う。かねがねご指摘をいただいているが、運用について示せるものは示せるように考える。
- 牛尾議員 デリケートな問題であるがゆえに細かいマニュアルをつくって示されたほうが、相手も喜ばれるだろう。十分留意していた

川神議長

だきたい。  
ほかにあるか。  
( 「なし」という声あり )  
ではこの件は終了したい。

## 2 その他

川神議長

議員から何かあるか。  
( 「なし」という声あり )

では私から1点。先般、議員定数等議会改革推進特別委員会の中で陳情者が陳述することに関していろいろな意見が交わされていると伺った。陳述者が例えば不適切・不穏当な発言、さらには休憩時間に息苦しい発言をさまざまするということが実際にあったと聞いた。その場合、そこを仕切るのは委員長なので、しっかりと制止並びに適切な運営をしていただくよう、副委員長のサポートを受けながらやっていただきたい。

さらにこの件についてはまた議員からの話も聞きたいが、この陳述の取り組みがより奏功して有効なものとなるよう、皆と取り組んでいきたい。よろしく願います。

岡本議員

先般、議会の視察関係について方向が示された。その後、感染者が増えている中で変更はないのか。

川神議長

現在視察に関しては、先般市が行っている新型コロナウイルス対策本部において、地域活動並びに学校活動は特に大きな変更はない。中国管内の発症者、さらには自治体の感染者数を見ても大きな変化はなかったと。ただ最近、島根県において浜田市も含めて少しずつ出ているため、注視している。クラスター発生など、中国管内でも具体的な注意をするべき地域が出た場合は、視察について改めて指針を申し上げたいが、現在のところは皆にお願いした感染防止対策を取りながら、なおかつ夜の意見交換会はやめていただく方針は変えてない。今後これが近いうちに変更がある可能性もあるが、現在のところは変更はしていない。

ほかにあるか。  
( 「なし」という声あり )  
ないようなので、これで全員協議会を終了する。

[ 17時 52分 閉議 ]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 川 神 裕 司